



第1018号
2006年12月17日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇12月の代祷・信施奉献先
▽聖書の主日(降臨節第2主日)▽世界エイズデー▽聖救主福祉会のため▽部落解放キリスト者運動のため

《奉献先から》

部落解放キリスト者運動

宗教者キリスト者による部落解放・人権確立の活動は、『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議や『部落問題に取り組むキリスト教連帯会議』という名称に込められているように、「連帯」という視点で、被差別部落の人たちや他の人権問題での被差別当事者による解放運動や他の宗教教団、キリスト教各派との繋がりを重要なこととしています。部落差別とさまざまな差別の解決に向かって、

宗教教団自体の組織や教え、また個々の宗教者の姿勢を、啓蒙・教育や差別事件・事象、さらには「教育基本法」「憲法」と言った社会的な問題に取り組む中で、反差別・人権確立を確固としたものとするために、連帯して活動しています。(関東部キ連委員長 司祭 田光信幸)

◆堅信受領

12月10日 小金井聖公会で
▽山本真理子▽小笠原真貴子(小金井)

◆教役者レクイエム

12月20日(水)午前10時半
主教座聖堂
説教・司祭田光信幸

▽主教佐々木鎮次▽司祭奥村亮
▽司祭岩井祐彦▽司祭今宮良治

▽司祭吉沢直江▽司祭貫民之介▽司祭清田海一郎▽司祭富田孫太郎▽司祭竹内寛▽主教工藤義雄▽司祭加藤九十九▽司祭秋吉光雄
◆としえの平安
11月22日 松野 貴司(58)
聖パウロ
11月29日 北原 幹子(90)
八王子

今週・来週の予定

12月17日~30日

- 17(日) 降臨節第3主日
合同堅信式(主教座)
- 19(火) 常置委員会
- 20(水) 教役者レクイエム(主教座)
- 24(日) 降臨節第4主日
主教巡回 東京聖三一教会
- 25(月) 降誕日

(この用紙は再生紙を使っています)

ほんの一年前まで私は、神や信仰といったことは、まるでかけ離れた毎日を送っていました。四十歳を迎えた年の、十二月のことです。夜、いつものように床につき眠ろうと目を閉じると、不思議なことに閉じたまぶたの中に何かが浮かんで見えたのです。それは白い半透明の球体と光のようでした。难道ろう?と思ひ、意識を集中させてみると、なんと次からつぎへと過去の記憶が甦ってきたのです。そしてこの時、誕生以前の記憶までもが鮮明に甦ってきたのです。まるで夢でも見ているようでした。そう、夢だったのかもしれない。不思議な体験でした。

《恵みに生かされて》

神の定めに従って

橋本 秀二

それから間もなく私は神愛教会の門をたたく事となります。私の人生はこの日以来、大きく変わりました。聖アンデレ教会で堅信を受け、信徒の皆さんに囲まれ、すばらしい結婚式を神愛教会であげることも出来ました。皆の一人ひとりの手作りで、とても温か味のある忘れられないものとなったのです。それはまるで神様の愛による贈り物のようなものでした。そしてまた今年、神愛教会創立百周年記念でもあります。この一年を振り返ると、本当に神様の愛、恵みに生かされて来た事に気がきます。あの不思議な体験以来私は、すべての事が主の導き、神の定めによるものだと思わずにはいられないのです。(神愛教会信徒)

▽COA(中高生世代活動の支援団体)では本日、浅草日曜給食活動ボランティアを終えたあと、28日(木)にクリスマス会(カムカムクリスマス)を開いて今年の活動を終える。当日は10時過ぎから聖アンデレ教会で手づくり礼拝やゲーム、制作などで楽しむ昼食持参。

▽滝乃川学園創立者石井筆子関連の映画や音楽会が賑わいをみせているなかで、既報のようにNHKテレビ番組「その時歴史が動いた」でも放映される。

「小さき者の灯火は消さず(仮題)」石井筆子・知的障害児教育への闘い」、20日(水)総合、22時～22時43分。

▽ぶどうのいえ(難病と闘う子どもと家族のための滞在施設)でボランティアを募集中。

月曜～土曜(特に土曜)10時～17時のうち週1、2回ぐらい。電話03(3818)3362。

▽台東九条の会(南部)が12月19日(火)19時～20時半、浅草聖ヨハネ教会で開かれる。「変えてはいけない!子どもの未来のために」楡原民佳(聖パウロ教会信徒)の話と懇談。

▽教区HPでは、教区内全教会・礼拝堂の降誕日前夕礼拝・降誕日礼拝・年末年始礼拝の時間を表にして、20日前後にはアップする予定で準備している。

◇12月ランチタイムコンサート

・聖テモテ 19日(火)12時30分、オルガン(菊地泰子)
・神田キリスト 20日(水)12時20分、オルガン(飯沼彩)

《今、この教会では…》

神田キリスト教会

壮年会ではここ数年他の教会を訪問しており、一昨年はエリザベスサンダースホーム、昨年は日光の真光教会、今年は当教会に在籍された大郷先生が主宰するアブラムの里に行きました。当地は名所の四十八滝を背景に広大な敷地を有し、素朴な生活の中でキリスト教を通じ青少年の育成に励んでおり、昨年の冬は沖繩の子どもたちが十数名来られ、始めての雪に感動し、雪合戦やソリ滑りに興じたそうです。当壮年会も、今後少しでもお手伝いをしようと思っております。夜は経験豊富で多趣味な大郷先生のお話を聞き「酒」の交わりをしました。(森 毅)

【教会グループ協議会報告・今年の活動から】

5 環状

当グループの5教会・2礼拝堂は、毎年4月29日に全生園で合同礼拝を行っています。近年特に信徒である元患者さんたちは、高齢化しています。ですから、この様な合同礼拝は、環状グループのメンバーが一堂に会して、交わり・分かち合いの時を持つよい機会なのです。またこの全生園が会場ということも、この施設について知る機会にもなります。ハンセン病患者として、社会から強制的に隔離させられ、筆舌しがたいほどの苦難の中を生きてこられた、元患者さんたちと共に礼拝に与かります。

元患者さんたちは、決して多くを語られませんが、控えめすぎると思うほどです。しかし準備段階からきめ細かく心配りしてくださいませ。暖かい優しさがさざ波の様に伝わってきます。

当日は皆で礼拝を守り、大人も子どもも一緒に礼拝します。立教大学の学生さんも参加し、一緒に聖歌を歌い、ハンドベルの演奏を聞きます。特にハンドベルの演奏は、うっとり聞きほれてしまいます。子どもたちはサーバーの奉仕をします。皆で参加し、皆で行う礼拝です。イエス様が真中におられると感じる、豊かな礼拝です。喜びがこみ上げてきて、頬がゆるんでしまいます。

幹事・池袋聖公会 執事神崎和子

▽:教会にイギリスからお客様が見え、イギリスと日本それぞれの教会の現状を話し合う機会を持つことが出来ました。イギリスでは90年代に司祭の数が減少して、その方の地区の教会では、8つの教会を3人の司祭様が協働で管理する体制になっているそうです。そのために教会委員会以外に他の教会と協働するための委員会があり、その働きが重要になっていきます。その委員会では、教会に行くことによって自分達の心の安定にばかり重点を置き、イエス様に出会えた喜びを他者に伝える努力を忘れないようにプログラムを考えているそうです。自分はどうなのかと考えさせられた時間でした。(IM)